

平成23年度九州大学大学院法学府
修士課程入学試験問題（春季）

国際政治学

以下の設問から二つを選び回答しなさい。

1. 国際政治学理論は冷戦終結を説明する上でどの程度の有効性を持っているか、複数の理論と事例を提示した上で、それらの妥当性と限界について論じなさい。
2. 国際政治における道義や倫理の役割はどのようなものか、論じなさい（経験的に如何なる役割を果たしているかという点と、規範的に如何なる役割を果たすべきかという点を分けて論述すること）。
3. ウォルツ(K.Waltz)の三つのイメージとは何か、それらは国際政治を理解する上でどの程度妥当しているか、論じなさい（またその現代的意義についても言及すること）。
4. 「民主主義の平和(democratic peace)」論とはどのようなものか、その妥当性と限界を現実の事例を踏まえて論じなさい。
5. 核兵器の登場が国際政治に及ぼした影響を現実の事例を踏まえて論じなさい。